



かしのみ通信

R3-第5号(累計66号)

令和3年7月16日

青森工業高校定時制生徒会

7

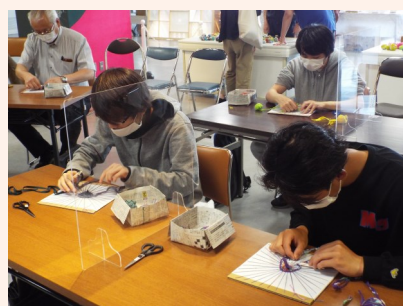
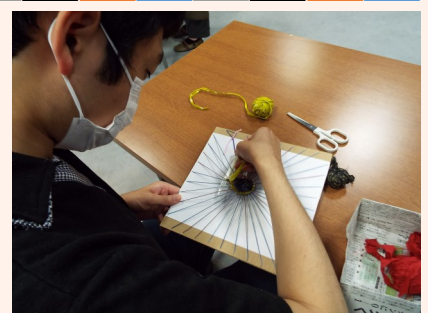
月2日に、遠足が行われました。今年度はコロナウイルスの影響により、バス移動や会食にリスクが伴うことから、例年と異なる形でワークショップを行うことになりました。津軽塗や南部裂織のように、郷土に根付く文化に触れる貴重な機会になったと思います。「工業」に携わるだけあって、真剣な表情でものづくりに取り組む生徒の姿が見られました。その様子をお伝えします。



津軽塗のスプーンを研いで、模様を出します。同じ唐塗りでも、研ぐ人によって個性が出ます。真剣な表情です。



古い着物などの布を裂いて、新たに織りなおす南部裂織。簡易的な織り機で、コースターを織りました。色の選び方など、生徒の性格がよく現れました。



細かい作業の連続です



講師の方と一緒に記念写真